|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 選択架台 | 点検日時 | 点検者氏名 | 臨界装置主任技術者確認（署名） |
| **ABC** | 年　　月　　日  時　　分～　　時　　分 |  |  |

下記の操作方法によってスクラムの条件を発生させ、制御卓の表示が正常に作動することを確認する。

| スクラム条件 | 点検手順 | 判定基準 | 判定 | 復旧確認（✓を記入） | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 制御棒駆動装置固定板のロックピンが外れたとき。 | * 制御棒駆動装置固定板のロックピン（炉壁側）を引き抜く。 | ROD MECHA  「NOT FIXED」  スクラム発報 | 良否 | * ロックピンを戻す * スクラム・警報リセット |  |
| * 制御棒駆動装置固定板のロックピン（入口側）を引き抜く。 | ROD MECHA  「NOT FIXED」  スクラム発報 | 良否 | * ロックピンを戻す * スクラム・警報リセット |  |
| 1. 炉室天井クレーンが運転架台室で動いたとき。 | * クレーンを選択架台に侵入させてクレーンの電源をOFFにする。 * REACTOR ONにする。 * クレーンの電源を再投入する。 | CRANE 「IN」  スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット * クレーンを非選択架台に移動 |  |
| 1. 可動遮蔽が開いたとき。 | * 可動遮蔽を閉める。 * REACTOR ONにする。 * 可動遮蔽を開く。 | ROTARY SHIELD「OPEN」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| 1. トラックサイズ扉が開いたとき。 | * CAS室に開扉の連絡をする。 * トラックサイズ扉（遮蔽扉）を開く（非スクラム条件）。 * トラックサイズ扉（気密扉）を開く。 | TRUCK DOOR「OPEN」スクラム発報 | 良否 | * 気密扉を閉める * スクラム・警報リセット * 遮蔽扉を閉める * 警報リセット * CAS室に警報復旧連絡 | CAS室 内線2675 |
| 1. 核計装用高圧電源に異常を生じたとき。 | * 核計装盤裏内部（核計装3-4）のテストスイッチを押す。 | HV SUPPLY 「FAIL」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| * 核計装盤裏内部（核計装4-4）のテストスイッチを押す。 | HV SUPPLY 「FAIL」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| 1. 制御室の電源電圧に異常を生じたとき。 | * 制御室の電源盤を「チェック」モードに切り替える。 * スライダックを操作し、電源電圧を110％に上げる。 | POWER SUPPLY「FAIL」スクラム警報 | 良否 | * 電源電圧を100％へ調整 * スクラム・警報リセット |  |
| * スライダックを操作し、電源電圧を90％に下げる。 | POWER SUPPLY「FAIL」スクラム警報 | 良否 | * 電源電圧を100％へ調整 * スクラム・警報リセット * 制御室の電源盤を「通常」モードに切替え |  |
| 1. 地震加速度19.6cm/s2以上の地震があったとき。 | * 地震監視装置の点検ボタンを押す。 | EARTHQUAKE「SCRAM」スクラム発報 | 良否 | * 点検ボタンを解除 * 地震監視装置モニタ部に表示された「RES」をタッチ * スクラム・警報リセット | 点検ボタン解除から装置のRES可になるまで約2分 |
| 1. 線型出力計の各レンジにおける指示が120％を超えたとき。 | * 線型出力計のテストボタン「120％」（核計装4－1）を押す。 * 110％でAUTO RUNDOWN（一せい挿入）が発報するがテストボタンを押し続ける。 | LINEAR POWER  「＞120％」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット * Range Switch　1µAに切替え |  |
| 1. 安全出力計の指示が120％を超えたとき。 | * 安全出力計のテストボタン「120％」（核計装4－2）を押す。 | SAFETY POWER  「＞120％」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| 1. 原子炉周期が10秒以下になったとき。 | * 対数出力炉周期系のテストボタン「10sec」（核計装5－1）を押す。 * 15secでAUTO RUNDOWN（一せい挿入）が発報するがテストボタンを押し続ける。 | PERIOD「＜10SEC」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| 1. 手動スクラム釦（制御室）が押されたとき。 | * 制御卓のMANUAL SCRAMボタンを押す。 | MANUAL SCRAM 「SCRAM」スクラム発報 | 良否 | * スクラム・警報リセット |  |
| 1. 非常警報釦（中央管理室）が押されたとき。 | **※KURが運転中の場合は絶対に実施しないこと。**   * 中央管理室から所内放送で非常警報テスト実施を通知する。 * 中央管理室の非常警報釦を押す。（非常警報「ON」を押し5秒間以上保持する。） | EMERG ALARM 「SCRAM」スクラム発報 | 良否 | * 非常警報停止（非常警報「OFF」押下） * スクラム・警報リセット | KUR制御室 内線2340  ※事前にKURの運転がない日時を確認して点検日を決める。  ※CAスクラムまで約5秒の時差設定。 |
| 1. 非常警報釦（制御室）が押されたとき。 | * 中央管理室に非常警報テスト実施を通知する。 * 制御室から所内放送で非常警報テスト実施を通知する。 * 制御卓の非常警報釦を押す。 | EMERG ALARM 「SCRAM」スクラム発報 | 良否 | * 非常警報釦を解除（ロック解除） * スクラム・警報リセット | 中央管理室 内線2400 |

|  |  |
| --- | --- |
| 点検終了後操作手順 | 確認事項（✓を記入） |
| * 空調を「平常」に戻す。 | 下記の空調系統のバルブすべて「開」表示、流量表示点灯を空調盤のグラフィックモニタで確認する。   * 炉室燃料室系統 復旧 * Target Gas Line 復旧 |
| * Magnet Power 「OFF」にする。 * 制御棒駆動装置を約20cm上げる。 | * 制御棒のデジタル指示計約200mm UP * 安全棒のアナログ指示計約20cm UP |
| * Control Power 「OFF」にする。 * Select Key 「OFF」にする。 | * ログブック記載忘れなし |

|  |
| --- |
| 点検に関するコメント、対応等 |
|  |